

報告 視覚障害教育の現状と課題 : 平成29年度 全国盲学校校長会調査

著者	和田 恒彦, 矢野口 仁
雑誌名	筑波大学理療科教員養成施設紀要
巻 号	3 1
ページ	23-25
発行年	2018-03-01
URL	http://hdl.handle.net/2241/00151644

報 告

視覚障害教育の現状と課題

～平成29年度全国盲学校校長会調査～

和田恒彦¹⁾、矢野口仁^{2,3)}

- 1) 筑波大学理療科教員養成施設
- 2) 全国盲学校校長会
- 3) 長野県立松本盲学校

キーワード 盲学校校長会、全国調査、理療

I. はじめに

全国盲学校校長会では、毎年「全国盲学校幼児・児童・生徒等調査」を実施しており、調査結果を「視覚障害教育の現状と課題」にまとめている。平成29年6月に発行したNo.56より、理療教育に関連する項目について記載する。

II. 結果

1. 学校数

67校1分校だった。設置者は国立大学法人1校、市立3校、私立1校、都道府県立62校、分校1校だった。1県に1校の学校は37府県(79%)37校(55%)だった。

2. 設置形態

高等部単独校が2校、幼・小・中学部校が8校、小・中学部校が1校だった。

幼稚部を設置している学校は47校、小学部を設置している学校は65校、中学部を設置している学校は64校、高等部普通科を設置している学校は55校だった。

理療教育を行っている学校は58校あり、うち本科保健理療科を設置している学校は45校、専攻科理療科は56校(うち2校は鍼

灸手技療法科)、専攻科保健理療科を設置している学校は39校だった。

専攻科理学療法科は2校だった。

本科音楽科・専攻科音楽科を設置しているのは2校、本科生活技能科を設置しているのは1校、本科総合生活科を設置しているのは1校だった。

専攻科生活情報科は1校だった。

1年課程では研修科が1校、鍼灸手技療法科が1校、専攻科普通科が1校、専攻科研究部理療科が1校だった。

3. スクールバス

スクールバスは26校で使用していた。

4. 生徒数

1) 在籍生徒数(総数)

平成29年現在の盲学校の在籍数は、幼稚部196名、小学部574名、中学部514名、高等部本科664名、専攻科845名の総計2,793名だった(表1)。

2) 幼児部在籍状況

学級数は83学級、幼児数は196人だった。

3) 小学部在籍状況

単一障害の学級数は155学級、児童数は291人。重複障害の学級数は129学級、児童数は283人、小学部合計574人だった。

表1 盲学校在籍者数

	幼稚部	小学部	中学部	高等部本科	高等部専攻科	総計
平成29年度	196	574	514	664	845	2,793
平成28年度	201	613	490	677	882	2,863
平成27年度	213	618	476	758	936	3,001
平成26年度	221	654	470	816	1,031	3,192
平成25年度	234	668	482	862	1,108	3,354
平成24年度	222	672	519	873	1,170	3,456
平成23年度	232	662	526	862	1,182	3,464
平成22年度	254	660	519	850	1,195	3,478
平成21年度	255	677	497	829	1,209	3,467
平成20年度	265	666	488	857	1,255	3,531
平成19年度	260	656	479	905	1,288	3,588
平成18年度	268	680	446	933	1,362	3,689
平成17年度	263	703	463	959	1,424	3,812
平成16年度	271	667	499	959	1,457	3,853

4) 中学部在籍状況

単一障害は129学級、生徒数は289人、重複障害は生徒数225人、98学級だった。中学部合計は514人だった。

5) 高等部本科普通科

高等部本科普通科の単一障害は122学級、生徒数は337人、重複障害は100学級、生徒数は214人、高等部本科普通科合計は551人だった。

6) 高等部本科保健理療科

65学級99名だった。

7) 高等部本科音楽科、生活技能科

音楽科は1学級6名、生活技能科は4学級8名だった。

8) 高等部専攻科保健理療科

103学級256名だった。

9) 高等部専攻科理療科

155学級482名だった。

10) 高等部専攻科理学療法科

5学級21名だった。

11) 高等部専攻科音楽科

2学級2名だった。

12) 高等部専攻科生活情報科

1学級2名だった。

13) 高等部専攻科研修科

3学級10名だった。

14) 高等部専攻科鍼灸手技療法科

8学級32名だった。

15) 高等部専攻科鍼灸手技療法研修科

1学級6名だった。

16) 高等部専攻科普通科

11学級11名だった。

表2 平成29年度 全国盲学校国家試験受験予定者数

部・科	高等部本科				高等部専攻科							
	保健理療科 手技療法科				保健理療科 手技療法科				理療科 鍼灸手技療法科			
学年	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
合計	42	35	34	111	102	87	75	264	179	149	157	485

- 17) 高等部専攻科柔道整復科
3学級23名だった。
- 18) 理療関係の国家試験受験予定数は表2
に示す。

Ⅲ. 考察

平成19年の生徒数に対して平成29年の生徒数は、幼稚部260名から196名(75.4%)、小学部656名から574名(87.5%)、中学部479名から514名(107.3%)、高等部本科の保健理療科以外は647名から565名(87.3%)、高等部専攻科1,288名から845名(65.6%)と高等部専攻科の減少が大きかった。

文部科学省の調査によると、幼稚園の園児数は平成19年の1,705,402人に対し平成29年は1,271,918人(74.6%)、小学生は、7,132,874人から6,448,658人(90.4%)、中学生は3,614,552人から3,333,334人(92.2%)、全日制高校生本科は3,289,476人から3,180,866人(96.7%)、専修学校専門課程は627,397人から588,233人(93.8%)となっており¹⁾、平成19年度平成29年を比較すると幼稚園～高等部普通科の

生徒減は一般学校の減少率と変わらないが、高等部専攻科と専修学校専門課程を比べると明らかに盲学校の減少が大きい。

近年視覚障害者の大学進学者数は増加しており、平成19年度の視覚障害者の高等教育機関での在籍数は大学518人、短期大学51人、高等専門学校8人の合計577人²⁾から、平成28年の視覚障害者の高等教育機関での在籍数は大学750人、短期大学7人、高等専門学校33人の790人³⁾と激増している。

視覚障害に対する高等教育機関の門戸が開かれ、進学がしやすくなっている事は非常に喜ばしいことであるが、大学進学者の15.1%以上が理療に進路変更をしている⁴⁾という調査結果もあることから、将来の職業自立を考慮した上での高等部普通科での進路指導が必要と思われる。

Ⅴ. 結語

平成29年の盲学校在籍生徒数は2,793人だった。平成19年に比べ幼稚園から高等部普通科の減少率は全日制学校と変わらないが、高等部専攻科の減少が大きかった。

Ⅵ. 謝辞

盲学校校長会のデータを利用させていただきました。

Ⅶ. 文献

- 1) 文部科学省：学校基本調査－平成29年度結果の概要－調査結果の概要（初等中等教育機関、専修学校・各種学校）http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2017/12/22/1388639_2.pdf
- 2) 独立行政法人日本学生支援機構：平成19年度（2007年度）大学・短期大学・高等専門学校における障害学生の修学支援に関する実態調査結果報告書，2008.
- 3) 独立行政法人日本学生支援機構：平成28年度（2016年度）大学・短期大学・高等専門学校における障害学生の修学支援に関する実態調査結果報告書，2017.
- 4) 青山祥一：視覚障害者の就労支援～視覚障害者支援センターを中心とした就労支援について～，地域政策研究，5(4)：3-9，2003.